

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算                      支出科目 款：農林水産業費    項：林業費    目：県産材流通対策費

事業名 木の国・山の国県民会議木づかい運動支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)  
林政部    県産材流通課    消費対策係    電話番号：058-272-1111(内4367)  
E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費                                      2,160 千円    (前年度予算額：                                      2,160 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
要求額	2,160	0	0	0	0	0	0	0	2,160
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ①経緯
- ・岐阜県木材協同組合連合会等の県内木材団体においては、県産材利用の一層の推進を図るため、木材利用関係の講習会・研修会の実施、木造住宅等に関する展示会出展、相談活動及び普及啓発資料配布、木育活動等を実施してきた。
- ②現状と問題点
- ・県内木造住宅着工戸数が伸び悩む中、東京・名古屋等の大都市圏で県産材住宅を積極的にPRし、需要拡大を図る必要がある。
  - ・近年「木づかい」への関心は高まっており、今後「木の国・山の国」を担う子どもたちに、木とふれあい木の良さを体感できる機会をつくることは、将来の県産材需要拡大に大きく貢献する。

(2) 事業内容

県レベルの木材関係団体が実施する、県産材販売促進・販路拡大・木育活動等に事業費の2分の1の範囲で助成する。

- ①講演会・研修会等の開催
- 木に対する理解を深めるための学習会や新技術、普及啓発及び販売戦略の手法等について考える研修会を開催する。
- ②普及啓発資料作成等の実施
- 木材利用推進のための方策を推進する協議会による県産材の販売拡大に関する資料作成を実施する。
- ③県産材展示会等の開催
- 東京都や名古屋市等の大都市の消費者向けに、「東濃桧」「長良杉」等岐阜県産材の情報発信を行い県産材の需要拡大につなげるため、総合住宅展示会等に出展する。

④消費者向け相談活動等の実施

木造住宅に関する消費者等相談窓口の設置や、木造住宅・県産材商品情報の提供、消費者向けセミナーや相談会を開催する。

⑤木工工作コンクール等の開催

児童生徒等将来の木材需要者に対する効果的な木育活動を図るため、木材に関する教育活動や、木工工作コンクールを開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県産材需要拡大対策は、木材産業振興のみならず、県土の保全、経済・雇用にも寄与しており、事業主体負担経費の1/2を県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,160	1 講演会・研修会等の開催：事業費100千円 補助額50千円 2 普及啓発資料作成等の実施：事業費195千円 補助額97千円 3 県産材展示会等の開催：事業費2,388千円 補助額1,194千円 4 消費者向け相談活動等の実施：事業費930千円 補助額465千円 5 木工工作コンクール等の開催：事業費709千円 補助額354千円
合計	2,160	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 国・他県状況

類似事業なし

(2) 後年度の財政負担

木の国・山の国県民運動の3つの施策の柱のうち、「木づかい運動」を継続的に展開するため、第4期岐阜県森林づくり基本計画の計画期間(R4~R8年度)は、事業を継続する。

# 県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## (事業内容)

補助事業名	木の国・山の国木づかい運動支援事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県木材協同組合連合会 岐阜県木材利用推進協議会 岐阜県木材青壮年団体連合会 （理由） 木材事業者が組織する団体で木材利用推進のために活動する団体であるため。
補助事業の概要	（目的） 県産材の利用拡大 （内容） 木材業界団体が行う、県産材利用拡大のための展会・講演会の開催、普及啓発、PR活動に要する経費に対し助成を行う。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 1 / 2 以内 （理由）
補助効果	
終期の設定	終期 令和 8 年度 （理由） 第 4 期岐阜県森林づくり基本計画の終期に合わせ事業継続

## (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

第 4 期森林づくり基本計画の終期の令和 8 年度における県内外での県産材住宅の建築戸数を 2,300 棟/年、ぎふの木で家づくり協力工務店数 300 社を目指す。その結果、木づかいが県民に伝わり県産材需要拡大に貢献する。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①県内外での県産材住宅の建築戸数	2,011	1,510	2,275	2,300	67%
②ぎふの木で家づくり協力工務店	113	168	270	300	70%

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	R5年度	R6年度
	790	1,833	1,880	1,880	2,035	2,157

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	(県木連) 県産材展示会等の開催：5回(参加者617名) ほか (木推協) イベント等での普及啓発資料の配布：7回(参加者858名) ほか
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	(県木連) 住宅資材展示会等の開催：7回(参加者47,199名) ほか (木推協) イベント等での普及啓発資料の配布：8回(参加者47,315名) ほか (木青連) 木工教室等の開催：2回(参加者256名)
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	(県木連) 住宅資材展示会等の開催：5回(参加者28,249名) ほか (木推協) イベント等での普及啓発資料の配布：5回(参加者18,272名) ほか (木青連) 木工教室等の開催：3回(参加者286名)
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<b>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</b> 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	多くの人が集まる住宅資材展示会等の開催やイベントへの出展などにより、木づかい活動を行った結果、非常に多くの人数に対してPRすることができた。 また、木育教室等の開催回数は、前年度より多い3回の開催で、286名の参加があった。
<b>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</b> 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 1	ぎふの木で家づくり支援事業支援の県外での実績棟数が上がっていることから、引き続き木づかい活動を支援し、県外都市部での木材利用を促進する。
<b>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</b> 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	SDGs、カーボンニュートラル2050の達成のため木材利用に関する関心が高まっていることから関連した木づかい運動を展開していく。

(今後の課題)

<b>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 継続して多くの県民に対してPRを行うことに加えて、インターネット等を活用した活動も検討する必要がある。
---

(次年度の方向性)

<b>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> SDGs、カーボンニュートラル2050の達成のため木材利用に関連したPRをインターネット等を活用して木づかい運動を展開していく。
---